

### 1-1. 資金収支決算の概要

2019年度決算における収入の部では、学生生徒等納付金収入194億円、寄付金収入10億円、補助金収入47億円、付随事業・収益事業収入39億円、医療収入683億円など収入合計[A]は1,206億円となり、これに前年度から繰越した支払資金[B]66億円を加え、収入の部合計は1,272億円となりました。

一方、支出の部では、人件費支出466億円、教育研究経費支出444億円、施設関係支出76億円、設備関係支出34億円、資産運用支出(減価償却引当特定資産や教育研究振興資金の積立)149億円などの支出により、合計1,206億円となり、2019年度の支払資金[D]として、66億円を繰り越すこととなりました。

#### ◇ 資金収支計算書(法人総括)

(単位:千円)

科目		2019年度決算額①	2018年度決算額②	増減(①-②)	比率(①/②%)
収入の部	1 学生生徒等納付金収入	19,403,831	19,289,075	114,756	100.6%
	2 手数料収入	554,457	587,857	▲33,400	94.3%
	3 寄付金収入	1,015,992	977,703	38,289	103.9%
	4 補助金収入	4,722,697	3,759,537	963,160	125.6%
	5 資産売却収入	8,690,226	550,186	8,140,040	1,579.5%
	6 付随事業・収益事業収入	3,912,338	3,973,632	▲61,294	98.5%
	7 医療収入	68,253,054	66,952,243	1,300,811	101.9%
	8 受取利息・配当金収入	989,373	1,054,324	▲64,951	93.8%
	9 雑収入	2,540,456	2,502,333	38,123	101.5%
	10 借入金等収入	0	0	0	—
	11 前受金収入	3,707,793	3,693,407	14,386	100.4%
	12 その他の収入	24,018,658	13,492,194	10,526,464	178.0%
	13 資金収入調整勘定	▲17,236,011	▲17,489,539	253,528	98.6%
[A] 当年度収入合計	120,572,864	99,342,952	21,229,912	121.4%	
[B] 前年度繰越支払資金	6,643,000	6,643,000	0	100.0%	
収入の部合計	127,215,864	105,985,952	21,229,912	120.0%	
支出の部	1 人件費支出	46,590,121	45,933,494	656,627	101.4%
	2 教育研究経費支出	44,372,002	41,570,849	2,801,153	106.7%
	3 (医療経費支出)	(26,569,511)	(24,803,930)	(1,765,581)	(107.1%)
	4 管理経費支出	3,313,959	3,295,949	18,010	100.5%
	5 借入金等利息支出	127,802	150,232	▲22,430	85.1%
	6 借入金等返済支出	855,550	1,041,550	▲186,000	82.1%
	7 施設関係支出	7,634,505	3,727,507	3,906,998	204.8%
	8 設備関係支出	3,352,140	1,412,282	1,939,858	237.4%
	9 資産運用支出	14,932,880	3,400,274	11,532,606	439.2%
	10 その他の支出	11,435,331	9,994,774	1,440,557	114.4%
	11 予備費			0	—
	12 資金支出調整勘定	▲12,041,426	▲11,183,959	▲857,467	107.7%
[C] 当年度支出合計	120,572,864	99,342,952	21,229,912	121.4%	
[D] 翌年度繰越支払資金	6,643,000	6,643,000	0	100.0%	
支出の部合計	127,215,864	105,985,952	21,229,912	120.0%	

(注) 1. 決算額は千円未満四捨五入したものである。

2. 支出の部[3(医療経費支出)]は、[2 教育研究経費支出]の内数である。

2018年度資金収支決算額との比較は次のとおりです。

【収入の部】

[1 学生生徒等納付金収入]	授業料収入、施設設備資金収入の増加などにより、1億円の増収となりました。
[4 補助金収入]	国庫補助金収入の増加などにより、10億円の増収となりました。
[5 資産売却収入]	有価証券売却収入の増加などにより、81億円の増収となりました。
[7 医療収入]	大学病院13億円増加、東病院3億円減少、北里研究所病院3億円増加、北里大学メディカルセンター0.2億円の減少などにより、13億円の増収となりました。
[12 その他の収入]	減価償却引当特定資産取崩収入53億円の増加、前期末未収入金収入11億円の増加などにより、105億円の増収となりました。
[13 資金収入調整勘定]	実際の現金収受が無いが、本年度に収入計上すべき額、172億円について、実際の現金の収受と一致させるため資金収入調整勘定を設け、減額調整を行っています。

【支出の部】

[1 人件費支出]	教員人件費支出6億円増加、職員人件費支出1億円減少、退職金支出2億円の増加などにより、7億円の増加となりました。
[2 教育研究経費支出]	消耗品費支出が8億円の増加、研究費支出が1億円の増加、業務委託費支出が3億円の増加、修繕費支出が1億円の増加などにより、28億円の増加となりました。
[3 (医療経費支出)]	大学病院13億円の増加、東病院0.6億円の減少、北里研究所病院3億円の増加、北里大学メディカルセンター1億円の増加などにより、18億円の増加となりました。
[6 借入金等返済支出]	借入金返済支出の減少により、2億円の減少となりました。
[7 施設関係支出]	土地支出3億円の増加、建物支出48億円の増加、構築物支出2億円の増加、建設仮勘定支出13億円の減少により、39億円の増加となりました。
[8 設備関係支出]	教育研究用機器備品支出8億円の増加、ソフトウェア支出11億円の増加などにより、19億円の増加となりました。
[9 資産運用支出]	有価証券購入支出83億円の増加、特定金銭信託支出43億円の増加、減価償却引当特定資産繰入支出9億円の減少、教育研究戦略資金引当特定資産繰入支出4億円の増加などにより、115億円の増加となりました。
[10 その他の支出]	前期末未払金支払支出12億円の増加などにより、14億円の増加となりました。
[12 資金支出調整勘定]	実際の資金減少を伴わないが本年度の支出計上すべき額、120億円について、実際の経費の支払いと一致させるため資金支出調整勘定を設け、減額調整を行っています。